

## 第34期第7回理事会議事録

日 時：2007年5月13日（日）18時40分～20時25分  
 会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター  
 404会議室（東京都渋谷区）

出席者：新野、藤谷、伊藤、岩崎、隈、近藤（裕）、  
 近藤（豊）、里村、多田、田中、中島、  
 板東、藤部、古川、松村、宮原、山崎、  
 湯田、以上18名（理事現在数26名）。

欠席者：宇平、高野、津田、中澤、中村、林田、久  
 木、余田、以上8名。

その他の出席者：山田（九州支部理事候補者）、萩原、  
 鈴木（事務局）。

議事に先立ち、新野理事長から、春季大会を担当し  
 た東京大学気候システム研究センターに対して感謝の  
 意が表明された。

### 議 事

1. 理事の補充及び辞任に伴う後任の推薦について  
 新野理事長から、第9回常任理事会で全国区理事  
 の補充候補者として住 明正氏（東京大学）を推薦  
 する提案が承認されたこと、また理事の辞任に伴う  
 各支部からの後任候補者の推薦について説明があ  
 り、何れも了承された。合わせて総会で承認を諮  
 る。
2. 委員会担当理事の変更について  
 新野理事の理事長就任を受け、これまで新野理事  
 が担当していた“天気”編集委員長の後任及び担当  
 変更の影響がある他の委員会の体制について検討し  
 た。また地方支部理事の交代による担当委員会の引  
 き継ぎについて確認した。なお、最終的な体制につ  
 いては、総会で新役員が承認された後に新野理事長  
 に調整を一任することで了承された。
3. 第1回評議員会議事録の確認  
 標記について確認した。
4. 2007年度総会について
  - (1) 総会資料の確認  
 議案1～8の内容を確認した。板東理事によ  
 り、議案2（2006年度収支決算報告）について黒  
 字であったこと、また岩崎理事により、議案6  
 （共同研究「気象庁データを利用した気象に関す  
 る研究」契約の締結）について、総会承認までの  
 手続き及び総会の意見で修正が必要になった場合  
 の対応等を確認した。議案6に関連して、共同研

究の契約書（案）、運営委員会規程（案）及び気  
 象学会側の運営委員を承認した。

### (2) 総会参加票の確認

事務局から総会参加票の集計結果が報告され  
 た。また総会参加票に添えられた意見の取り扱い  
 について検討し、議案説明の際に適宜補足するこ  
 ととした。

### (3) 進行の確認

総会及び総会に先立って行われる創立125周年  
 記念式典の進行について確認した。

### 5. 名誉会員推薦委員会の強化について

藤谷理事から、平成20年度の総会で名誉会員の推  
 薦を実現するための委員会強化案として、新たに古  
 川理事、中島理事及び津田理事を委員に加える提案  
 があり、了承された。

### 6. 公益法人移行検討ワーキンググループの設置につ いて

藤谷理事から、公益法人への移行に向け、常任理  
 事会の下に理事及び気象庁・気象協会関係者から構  
 成する検討ワーキンググループを設置することが報  
 告された。

### 7. 今後の大会開催の担当機関について

藤部理事（関東地区連絡会）から、2009年度の春  
 季大会を筑波大とその周辺機関（気象研究所以外）  
 で開催する予定との説明があり、了承された。

### 8. 各支部からの報告

北海道支部から、2007年度秋季大会の実行委員会  
 が発足したこと、また大会シンポジウムのテーマを  
 「雪氷圏から語る気象と気候」とし、5名の講演予  
 定者から内諾を得たことが報告された。

東北支部から、6月15日（金）の支部創立50周年  
 記念特別講演会の講演者が決定したこと、また2008  
 年度秋季大会の会場を絞り込んでいることが報告さ  
 れた。

中部支部から、2006年度秋季大会について、予算  
 枠を若干超える程度で順調に運営できた旨の支部総  
 括を行ったことが報告された。また奨励賞候補者推  
 薦委員会が本年度の推薦をしないとしたことに関  
 し、推薦基準を再考して欲しいとの提言があった。  
 他の支部からも、支部の推薦者が選に漏れた場合に  
 次年度以降の推薦者の選定が難しいとの意見があっ

た。これに対し、近藤（裕）理事から、委員会でも議論になっており、受賞対象となる調査研究、選考基準、募集要項等について今後検討するとの説明があった。

関西支部から、8月7日（火）～8日（水）に地球温暖化をテーマとする夏季大学を“キャンパスプラザ京都”で開催すること、また関西気象予報士会と共催でサイエンスカフェの実施を検討していることが報告された。

九州支部からは、6月の支部理事会で今後の活動方針を検討する予定との報告があった。

## 9. その他

### (1) 気象集誌の電子アーカイブ事業について

岩崎理事から、気象学会が2部保管している

1957年以降の気象集誌のうち、1部を裁断してアーカイブに使用したいとの説明があり、了承された。作業完了後に業者により再製本されるので、希望があれば譲渡することとした。

### (2) 今年度の気象研究ノートの販売について

山崎理事から、気象研究ノートの在庫の販売促進のため、オンラインで申し込みや支払いができれば便利ではないかとの提案があり、事務局を中心に検討することとなった。

平成19年6月18日

社団法人日本気象学会

議長 新野 宏

署名人 板東恭子

署名人 多田英夫